

平成14年度事務事業計画

1.活動方針

小泉政権にとって初めての予算編成となる平成14年度予算案がまとまった。政権への高い支持率を背景に、公共事業や特殊法人に対する財政支出に切り込む構造改革路線を貫いた一方、デフレ不況の中で緊縮型予算を選ぶ冒険という批判もでている。

この構造改革の推進と景気への備えを両立させる今後の経済運営の舵取りが注目される。こうした状況の中で、わが国経済の一翼を担うわれわれ計量器コンサルタントは絶えず知識、技能の向上に努め、スペシャリストの矜持をもって職務に取り組み、ユーザーの信頼を得て新しい展望を開いていこうではありませんか。

会員の中には計量器コンサルタント資格や推奨計量器表示制度を有効に活用し、ISO認定工場等に新しい納入実績をあげている事例がある。

本年度も計量器コンサルタント制度を最大限に活用し、前進を図ろうではありませんか。

2.基本計画

- (1)計量計測機器の技術進歩への対応研修会、見学会、セミナー等の開催
- (2)新しい制度、法令改正等への対応説明会、研修会、セミナー等の開催
- (3)各種情報の収集と伝達情報交歓会の開催、リブラの編集発行
- (4)計量器コンサルタント制度の普及、PRと社会的評価の高揚関連座談会等への参加、広告等
- (5)創立30周年記念事業の開催 30周年記念事業企画委員会を設置して立案する。